



学校だより5月号

葦

令和6年5月22日
市川市立福栄中学校

学校教育目標 自主・自立～活力と魅力あふれる学校を目指して～

～大人の言うことを聞くのではなく、大人のやることをまねする～

保護者の皆様には、学校を創る当事者として協力してほしいと前回の学校だよりでお願いしました。この見出し「～大人の言うことを聞くのではなく、大人のやることをまねする～」はコーチングの先生から昨年、教えていただいた言葉です。そして体育祭の全体練習において校長から先生方に伝えた言葉です。

保護者の皆様には学校を創る当事者として、学校に来校して、直接、生徒に関わることをして頂くこともあると思いますが、日頃、ご家庭でお子様と接する中で、お子様は親御さんがやることをまねするので、良い見本を背中を示してください。我々も、日々の教育活動について自らの姿勢を見直しながら、生徒にとって良い見本となるよう改善しながら成長していきます。同じ気持ちで子どもたちに接していきましょう。宜しくお願いします。

～ひかり祭を通して一回り成長～

1. 自分たちの体調を管理が出来ました

今回のひかり祭では、気温が上がるということで熱中症が心配されました。そこに備えて事前の練習において全校生徒に対して、厚生委員長から熱中症の予防行動について呼びかけがありました。当日は、全校で水分補給を上手に行い、熱中症対策用の応援席後ろのテントを活用しながら、熱中症や大きなケガもなく、無事ひかり祭を終えることが出来たことが何よりでした。

2. スポーツの特性を体験出来ました

スポーツの特性は、①競争すること②協働すること、この2つです。今回、生徒たちが真剣に勝負に向かって、最後まで全力で取り組むことが出来ました。全力で競技する姿勢が本当に素晴らしかったです。

そして生徒同士の間関係の円満さが本気を出して失敗しても大丈夫だという雰囲気を作っていました。これが協働であり、競技に参加して勝っても負けても、生徒同士で惜しみない声掛けや拍手がありました。

今回、全校生徒が体育委員長のリーダーシップの下、本気で一体となって取り組めたことでスポーツの特性を存分に体験することが出来ました。

3. リレーについて

今回のリレーでは、テイクオーバーゾーンを有効に使っていました。学級には様々な生徒がいます。走るのが得意な人、逆に不得意で体育祭で走って自分の番で抜かれたらどうしようと不安な人もいます。そんな部分をテイクオーバーゾーンの使い方で解決していたと思います。走るのが得意な人が出来るだけ、テイクオーバーゾーンの終わりギリギリまで走って苦手な人をカバーしていました。当たり前のことかもしれませんが、この点が学級の協働という点で良かったです。

4. 集団行動について

ひかり祭のように全校生徒800名弱が一斉に安全に動くには集団行動が徹底されていないとできません。一つの約束事を守り、周りの人の立ち位置の気を配りながら、自分の立ち位置を決めていく集団行動を通して、周りの人に気遣いが出来るようになりました。この集団行動を校外学習や修学旅行等の集団で行動する時に活用することが大切です。

～4月から1か月半が過ぎて～

4月8日(月)に始業式、4月10日(金)に入学式があり、5月18日(土)にひかり祭も無事終了してあっという間に1か月半が経ちました。学校も一息つける時期になりました。保護者の皆様にはオープンスクールやひかり祭にご来校して見ていただいた通り、生徒たちの成長には著しいものがありました。

反面、課題もたくさん見えてきました。今年度学校経営重点のスローガンとして

「～地域に開かれた生徒主体の学校づくりの推進～」としましたが、急に生徒が自ら考えて、判断して行動できるわけではありません。中学校3年間で生徒たちが自分たちの学校を自分たちの考えや行動で動かすことが出来たと感じてもらえれば良いと考えています。自分の考えを持つには、まずは人の話をしっかり聞けることが大切です。

しっかりと相手の目を見て、聴くこと、相手がどんな気持ちで伝えたいのかを察しながら聞くことが必要です。先生や代表の生徒から約束事等の大切な話を聞く時に、生徒たちの様子を見てみると、背筋が丸くなって、机に手をつけている生徒や体育座りができず、目線が下がっていて、手遊びをしていることもたまに見かけます。話を聞くことは人として一番の基本です。しっかりと自分の体を操ること、長い話でも姿勢が崩れないように我慢することが必要になります。全員がしっかりと話を聞ければ、話も長くなる事もなく、注意されることもなく、生徒主体の活動の時間が増えると思います。

そして、しっかりとした姿勢が出来たら、素直に話を聞くことが大切です。その姿勢は話す側に、しっかりと伝わります。こんなに素直に聞いてくれるなら、もっとたくさん伝えたいと思うようになり、たくさんのお話を教わることができます。

何事も基本という土台が大きければ、その上に応用として大きなものが積みあがります。話を聞くということが生きていくうえで大きな土台となります。しっかりと全校生徒が出来るように学校の課題として指導していきたいと考えています。ご家庭でも真剣な話をする際には、是非、姿勢を正して話をしてください。よろしくお願いします。

★基本を徹底して、大きな土台を作りましょう★